

令和3年度 【事業者向け】 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			今後も安全面や発達特性に配慮したスペースを確保し、子どもさんが意欲的に取り組める療育を行います。
	② 職員の配置数は適切であるか		○		長い利用待機期間について、医療や地域事業所と連携しつつ、配置数について検討していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			安全面を考慮しつつ、快適に当施設をご利用していただけるよう改善していきます。
業務改善	④ 事業改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			職員全体で目標を確認し、振り返りを行っています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			直接、保護者の方からいただいたご意見やアンケート結果等をもとに、業務改善に努めています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページやはみんぐ待合室の掲示板に掲載しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			新型コロナウイルス感染予防策のため、外部評価を受けることができませんでした。これまでの評価結果をもとに業務改善に努めています。
	⑧ 資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			資質の向上のために研修を受け、職員内で共有するようにしています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもさんの発達段階に沿ったアセスメントツールを使用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			集団療育の立案はチームで行っています。
⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもさんの発達段階や特性、興味関心に応じたプログラムを提供していきます。	

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、療育内容について工夫しているか	○		子どもが通所する日に配慮して療育内容を検討し、支援を行うよう努めています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、今後の支援内容や役割分担について確認しているか	○		集団療育実施前には職員間で必ず打ち合わせを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気が付いた点等を共有しているか	○		集団療育実施後には職員間で必ず振り返りを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	記録をとり、その内容を支援に生かしていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に療育の見直しを行い、必要に応じてチームで今後の方針を確認しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		子どもさんの発達段階や特性、興味関心に応じて活動を提供しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		子どもさんの状態を把握している職員がサービス担当者会議に参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有、パニックや対人トラブル等の相談、療育内容の相談を適切に行っているか	○		行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		連絡体制を整え支援を行っています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有、相互理解に努めているか	○		必要に応じて、連携を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当する利用者は少ないですが、必要な方に対しては連携を行います。
	㉕	医療機関や児童発達支援センター、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		助言や研修を受けて、その内容を支援に生かしています。
	㉖	地域の学習会に参加し、地域への理解を広げているか	○		研修会を開催する等、地域への理解を広げています。

	⑳	(地域自立支援) 協議会等への参加や、参加した職員から情報を得ているか	○		情報を得たことを支援に役立てています。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		三密を避けるため、集団療育ではアンケートを用いて状況や課題を把握しています。必要に応じて、個別相談(事業所内相談支援)を実施しています。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○		行っています。
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		行っています。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		今後も的確に助言ができるよう努めます。療育実施直後に十分ご相談をお受けできない場合は、別日で個別相談(事業所内相談支援)を実施しています。
	㉕	保護者向けの研修会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度は新型コロナウイルス感染症流行のために1回しか実施できませんでした。来年度も感染予防を踏まえ、保護者同士の連携に繋がるような研修会の開催を検討していきます。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情を受けた場合は速やかに適切に対応するよう努めています。
	㉗	会報等を作成し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報を作成しています。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に十分注意しています。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		相手の立場に立った意思疎通や情報伝達を心がけていきます。
	㉚	発達障害の理解を促す研修会を開催しているか	○		開催しています。研修会を知っていただけるよう広報を工夫します。
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時や感染症対応のマニュアルは策定されています。保護者の方に知っていただけるよう努めます。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			感覚過敏が強い子どもさんを考慮し、療育時を避けて定期的に火災避難訓練を行っています。職員は利用者を安全に誘導できるよう心がけて実施しています。非常時は職員の誘導に従ってください。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	○			当センター全体として、研修会を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援を行っているか	○			当事業所では身体拘束を行わない療育実施を心掛けております。療育者は子どもさんの様子を丁寧に観察し対応していきます。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			当事業所では食物の提供が常にプログラムの中に組み込まれてはいません。しかし、契約時に食物アレルギーの有無を把握しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有しています。